

平成 24 年 11 月度県内産業景気動向調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

山口県内の「業界の景況（前年同月との比較）」は、悪いと感じている人が、10月より減少している。一般機器では海外向けの金型生産の受注が続き、稼働率も若干上がった。サービス業では、利用客が増え良い動き等の報告もあるが、多くの業種の報告では、依然として景気は低迷しており、年末に向け不透明感が増していると感じている。

山口県の主要指標 DI 値（平成 24 年 11 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：1.3% 悪化：47.5% DI 値：▲46.2% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加：12.5% 減少：41.3% DI 値：▲28.8% ポイント

収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：1.3% 悪化：48.8% DI 値：▲47.5% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 24 年 11 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲29 以上	 ▲30 以下
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲50.0	▲50.0	▲33.3	▲100.0	▲83.3	▲55.6	▲50.0	▲59.4
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	全 非 製造業	全 体
▲40.0	▲33.3	▲75.0	▲15.4	▲20.0	▲85.7	▲37.5	▲46.2
							

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	10月度は▲5.3%。これは、土日が昨年より2日少ないためであるので、トレンドは昨年並み。11月度はシケによる商材不足に悩まされ、最終▲10%程度と非常に厳しい状況。11/29・30「全国農林水産物直売所サミット」は、全国から合計520名の参加で大盛会であった。	水産食料品製造業 萩市
	先月と変わらず資材関係の価格が上がり困っている。また食品関係原料の供給不安や価格高騰などの問題が大きくなってきている。	水産食料品製造業 下関市
繊維工業	受注状況は引き続き低調で厳しく、先月と状況は変化なし。来春物も新規の企画を小規模にする傾向にあり、量的な受注にならないのが実態である。雇用人員も自然減で各社減少が続いており増員予定が組めない状況である。	下着類製造業
	繊維業界は、悪化し続けている。	外衣・シャツ製造業 山口市
	11月は、資材の揃いが悪く、仕事量も少なかった。12月に期待している。	外衣・シャツ製造業 下関市
木材・木製品	新設住宅着工戸数は、前月より微減となった。木材価格は、依然として前年を下回っている。	製材業・木製品製造業 山口市
	民間住宅等の需要は若干出ているが、工務店は系列のプレカット工場へ発注するため、昔からある製材業者は苦戦をしている。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	需要が減少している。受注できても小ロットの仕事で、売上があがらない。	印刷 下関市
	11月は、薄利多売で昨年を維持したが、受注量が増えず、12月は厳しい状況になりそうだ。周南近辺の中規模の印刷会社が今月倒産した。	印刷 山口市
窯業・土石製品	対前年同月比は、骨材130%、路盤材104%、再生材119%、全体では122%。前年度に比べれば出荷数量も増えているが、仕事の量は年末にもかかわらず少ない。砕石の地産地消についての請願の件は白紙となった。	砕石製造業

	出荷量は前年同月比、前月比とも、それぞれ104%、116%と増加。これは、前月と同様に中部、岩国、大島地区の出荷量の前年同月比増によるもので、他の3地区は低調であり、全県的な復調には至っていない。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じておらず、価格も安定して推移している。	生コンクリート 製造業
	売上高には地域性があり、県内西部は売上高がアップしている。	石工品製造業
一般機器	組合員より、円高を何とかしてほしいとの声がある。	一般機械器具製造業 周南市
	依然として業界の景気は低迷を続けているが、11月は何とか維持できた。12月を含め、受注の見通しがとっても暗い。来年に入っの引き合いはあるが、受注に結び付くかどうかは不明。	一般機械器具製造業 防府市
	受注量は激減し、先の業況の見通しがたたない。	一般機械器具製造業 宇部市
	売上高は微増	
	金型の生産状況は、特に海外向けの受注が続いた為、設備の稼働も若干上がり、年内の生産は確保出来ている。国内向けの見積りの件数は多く入っているが、中国の暴動の余波が徐々に影響しはじめている。受注は海外の低価格化が進み立ち打ち出来ず、国内でも価格が下がり、いかにコストを下げ、短納期で作るかが分かれ目となっている。来年以降の状況は読めないが、現状維持か、現状よりも下降するのではないかと思われる。 成形製品の動向としては、先月同様、自動車関係の受注が減少しており、まだまだ先行き不透明な状況が続きそうである。	特殊産業用機械 製造業
輸送機器	車両・精密加工部門ともに低迷期に入ってきた。持ち直しの兆しは春を待たないと難しい状況。世界経済が上昇に向かわないと、低迷の期間は長引くと見られる。	鉄道車両・ 同部品製造業
卸売業	低迷が持続している。	各種商品卸売業 柳井市
	各業種とも個人消費の不振、雇用の悪化も影響して厳しい状況。今後も中小企業全般を取り巻く環境は厳しい。	各種商品卸売業 周南市
	大型量販店が調達する商品についても、地元より県外からの納入が多く、各業種とも、対応に苦慮している。	各種商品卸売業 下関市

小売業	11月20日～21日に高松市で全国大会があり、全国から400名の参加があった。専門店経営の問題点等について話し合い、組合活動としては、組合専用商品の販売に力を入れ、経営の安定に努力するよう決議がなされた。山口県の組合としては、健康食品のコンテストの20期連続達成を目指して努力しており、そのためのセールの企画提案をしている。	化粧品小売業
	近鉄松下百貨店の閉店セールが開始されており、冬のツリー祭りも前倒しで開催されている。	各種商品小売業 周南市
	ポイント2倍等のイベント時の売上は増加したものの、その他の平日等は不調。	各種商品小売業 山口市
	組合員の減少に歯止めがかからない。	各種商品小売業 下関市
	大型電機店が開業して約1年が経過するが、先月より全体売上及び客数は前年を下回り厳しい状況が続いている。	各種商品小売業 長門市
商店街	空き店舗対策で、シャッターが開いた店は増加したが、オーバーストア状態の上にストアが増加し、狭い市場を奪いあっている。	山口市
	11/10に新規ドラッグストアがオープン。萩市内への道路の喉元に多数の大型店が位置し、市街地の商店街が孤立状態となっている。時代の流れでこれも止む無しと思うが、何か打開策があるはず。模索を続けている。	萩市
サービス業	美容業は成人式や七五三等のセレモニーに関わってきたが、最近、新しい業態が出てきて、美容師の着付けが少なくなった。組合では美容師ならでの、あらゆるマナー礼儀・技術等の勉強会を発会し、勉強をしていこうと考えている。	美容業
	10月の新車販売台数が発表されたが、エコカー補助金の終了による影響があり、山口県においては、対前年比登録車8.6%減、軽5.2%減だった。全国平均では軽自動車は0.5%増となっており、山口県に影響が大きく出た結果であった。	自動車整備業
	先月同様、国の政策も終わり、売上は減少している。政権交代後に期待したい。	

	<p>引き続き業界的には厳しい状況。先月から出てきたある業界からの生き残りをかけたIT投資の話も具体的な形で開発が進んでおり、12月に試験導入を行い上手く行けばその業界への横展開に期待が出来る。インターネットを使った物販の話も出てきているので、市場（しじょう）としてはこれからさらに生き残りをかけて拡販展開していくケースもあるであろう。</p>	情報サービス業 萩市
	<p>国政選挙が行われて、すぐに景況が好転するわけではないので、期待できない。</p>	屋外広告業
	<p>業況は不況のまま変わらない。業界の動向は相変わらず廃業が相次ぎ、新規開業もぼちぼちで変り映えがしない。景況はよくないことは事実だが先行き不透明なところに問題点がある。国の景気対策が第一だが県の独自性（オリジナル）を發揮した景気浮揚策も渴望されている。知事の交代で、来年度予算が期待されるが、現状のままでは山口県の食文化はグローバルな食文化に埋没してしまう恐れがある。総選挙の結果に期待感はあるものの景気の浮揚策が気がかりだ。</p> <p>岩国錦帯橋空港が12月に開港し、県東部の業界には期待感はあるもの、新規開業の目立った動きはまだ見られない。</p> <p>懸念していたデフレ下での諸経費の値上げが、経営に重く押し掛かり、掛け声をかけても人がいない地域の実態は変わっていない。食材料・エネルギー価格等の上昇が経営を圧迫している。</p>	飲食業
	<p>対前年同月比▲21%ではあるが、前年は国体開催の需要が含まれており、比較出来ない。対前々年同月比だと微減となっているので、通常ベースと考えられる。</p>	旅館業 萩市
	<p>売上高は、全体的に予定通りという施設が多く、先月に続き飲食店・宿泊業ともに好調であった。観光施設の入場者がやや減速気味であるが、安価な行楽の日帰り利用客が増えている。高額商品も、少しずつ売れ出している。「ふく」のシーズン真っ最中なので下関地区は賑わいがある。「政治がやや変化するのでは」との期待感で明るい雰囲気があり、近年の中では、良い動きを感じている。</p>	旅館業 下関市
建設業	<p>今月から、各社仕事量が少なくなってきている。見積もりの件数も減少気味で、年末が不安である。</p>	鉄骨工事業

	<p>中電への工事申請 10月 337件（当支部分 271件）、前年同月 260件（同 225件）。太陽光発電への申請 32件、オール電化申請 27件（前年は太陽光 23件、オール電化 17件）。LED街路灯への切替・新設申請は 36件（前年は 55件）。再生エネルギー買取の優遇見直しにより、太陽光発電申請は引き続いている。</p>	電気工事業
	<p>公共工事の発注は増加しているが、受注は軒並み最低価格の中でのくじ引きとなっており、収益性は低い。民間工事の発注は、依然として低調で推移している。</p>	土木工事業 柳井市
	<p>24年 11月の受注高は、対前年同月比 397%。今年度の累計は、対前年比 84%。</p>	土木工事業 萩市
運輸業	<p>輸送関係は 11月 16日解散後、円安と株価値上がりの中で、運送業にとっての最大の関心事である油価格は上昇の懸念大である。輸送量が全体的に減少傾向にある。国内向けは横ばい、輸出関連は下降の一途である。前年対比で 15%弱の減。油は 0.8円の値下げ。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	<p>下期の悪い流れは引きずっており、11月も昨年同期を大きく割り込み、比率にして 17%程度のマイナスとなりそうである。不況に伴う海外輸出製品の落ち込みに加え、生産拠点の海外移転は、輸送稼働に大きな影響を及ぼしている。自動車関連製品を取り扱っている当組合にとっては、大きな痛手となっている。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市
	<p>運輸業については、大口・長距離の輸送案件は依然として減少傾向にあり、小口・近距離の輸送案件が増加傾向にある。しかしながら、運賃は相変わらず年々低下しており、景気が好転しているとは言い難い。これから年末にかけては、例年でいくと荷動きの増加が予想される。特に食品輸送については年末年始が繁忙期となる。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市
	<p>組合を設立し 43年を迎えたが、24年 11月は最悪の状況であった。下関地区の水産物輸送も先月よりも減り、輸出入も低調で、情けない状況である。業界の望むところは景気の回復のみで、頑張るより致し方ない。</p>	一般貨物自動車運送業 下関市

	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比▲11.9%（10月1日～11月20日分）となり、6月以降の大幅な減少に歯止めがかからない。10月1日～31日分は▲13.1%の減少、11月1日～20日分は▲10.0%と大幅な減少が続いている。当組合の取り扱い、光市、下松市、周南市、防府市の地域だが、特定の地域や得意先ではなく全体的に、利用枚数が大幅に減少、加えて利用単価も低下している状況。日中の病院通い等、現金利用客の減少はそれほどではないが、夜間の飲食店関係が激減している模様。燃料のLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動。原油価格の上昇とも関連し上昇してきた。前年度値下がりしていたことや石油・石炭税が加わった事もあり、11月のタクシー会社の購入単価は前年比+10%となり、使用量が多くなるこの時期に、タクシー会社の負担がますます増加することになる。景気の政府発表も下方修正に転じているが、経済政策の効果がすぐに表れるとは思われず、年末の繁忙期をひかえ、国内景気の今後が大いに懸念される。</p>	<p>一般旅客自動車運送業</p>
--	--	-------------------